

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【公開番号】特開2016-10586(P2016-10586A)

【公開日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2014-134075(P2014-134075)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

利益状態を発生させるか否かの抽選結果に応じて3つの図柄を変動表示する図柄表示手段と、

前記図柄表示手段による図柄変動中に、一又は複数段階の演出ステップよりなるステップアップ演出を実行可能なステップアップ演出実行手段とを備えた

遊技機において、

前記演出ステップを所定段階まで実行しない場合には、前記3つの図柄が全て異なるタイミングで停止動作を開始し、

前記演出ステップを所定段階まで実行する場合には、前記3つの図柄のうちの2つが略同時に停止動作を開始し、それに遅れて他の1つの図柄が停止動作を開始する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、ステップアップ演出を効果的に実行可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0008**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0008】**

本発明は、利益状態を発生させるか否かの抽選結果に応じて3つの図柄を変動表示する図柄表示手段38と、前記図柄表示手段38による図柄変動中に、一又は複数段階の演出ステップよりなるステップアップ演出を実行可能なステップアップ演出実行手段76とを備えた遊技機において、前記演出ステップを所定段階まで実行しない場合には、前記3つの図柄が全て異なるタイミングで停止動作を開始し、前記演出ステップを所定段階まで実行する場合には、前記3つの図柄のうちの2つが略同時に停止動作を開始し、それに遅れて他の1つの図柄が停止動作を開始するように構成したものである。

また、図柄始動手段19が遊技球を検出することに基づいて取得される変動記憶情報に基づいて図柄を変動表示する図柄表示手段38と、前記変動記憶情報を前記図柄表示手段38による図柄変動に供されるまで所定の上限個数を限度として記憶する情報記憶手段63と、前記図柄表示手段38による変動後の停止図柄が特定態様となった場合に利益状態を発生させる利益状態発生手段67と、前記情報記憶手段63に記憶された前記変動記憶情報の個数に関する保留個数情報を保留表示部40に表示可能な保留個数情報表示手段28,39と、前記図柄表示手段38による図柄変動中に、一又は複数段階の演出ステップよりなるステップアップ演出を実行可能なステップアップ演出実行手段76とを備えた遊技機において、前記ステップアップ演出における前記演出ステップが特定段階に達した場合に、前記保留表示部40に表示されている前記保留個数情報の少なくとも一部を前側から視認不可能な状態にするように構成してもよい。

【手続補正6】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0013**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0013】**

本発明によれば、ステップアップ演出を効果的に実行可能である。